

日本天文学会春季年会記事

昭和45年度春季年会は、5月12, 13, 14, 15日の4日間東京都文京区本郷4の文京区民センター大会議室で行なわれた。

講演数 128 出席者約 160名 13日には通常総会が行なわれた。

発表された講演数、座長は次のとおりである。

第1日(12日)	午前	14	古畑, 奥田
	午後	19	飯島, 弓
第2日(13日)	前	14	小尾, 末元
	後	22	上野, 大沢
第3日(14日)	前	16	赤羽, 清水
	後	16	一柳, 藤田
第4日(15日)	前	16	河鮎, 大野
	後	11	成相

13日午後5時半より通常総会および天体発見賞贈呈式が行なわれた。

総会:

議長: 宮本正太郎理事長

総会次第:

1. 開会
2. 天体発見賞贈呈の件
3. 昭和44年度会務報告
4. 昭和44年度会計報告
5. 昭和45年度予算案
6. 次期評議員改選の件
7. 運営検討委員会の答申について
8. 閉会

○天体発見賞贈呈の件: 原案どうり承認され、新彗星 1969 d に対し藤川繁久氏、新彗星 1969 g に対し多胡昭彦氏、新彗星 1970a に対し金井清高氏、へび座新星 1970 および わし座新星 1970 に対し本田実氏の各氏にそれぞれ天体発見賞が贈呈され、新彗星 1969 g に対し佐藤安男氏、小坂浩三氏、新彗星 1970 a に対し大道卓氏、藤川繁久氏の各氏にそれぞれ発見功労賞が贈呈された。

○昭和44年度会務報告、会計報告および昭和45年度予算案については原案どうり承認された。

○次期評議員改選の件:

次期評議員(昭和45年—昭和49年の組)としては原案

どうり次の15氏が選出された。

青木信仰, 上野季夫, 奥田豊三, 小暮智一, 清水疆, 寿岳潤, 末元善三郎, 高窪啓弥, 高瀬文志郎, 田中春夫, 浜田哲夫, 藤田良雄, 古畑正秋, 宮本正太郎, 守山史生(五十音順)

なお昭和43年~47年の組の15氏は今回は改選されない。

○運営検討委員会の答申について

末元理事長から経過報告、運用面での問題点、学会としての今後の取扱、学会員の意見等の説明があり、また小暮委員長から、答申作製の経過、報告答申の説明、今後の委員会のあり方等について報告があり、学会員との話し合いが行なわれたが、今後、種々のグループ間の公式、非公式の話し合いを通じて具体案を煮つめることになった。

昭和44年度会務報告、会計報告および昭和45年度予算案については紙面の都合で次号に掲載いたします。

学会だより

大塚奨学金希望者募集

昭和45年度大塚奨学金を希望される方は例年通りお申し込み下さい。申込みの締切は9月末日。詳細は9月号を御参照下さい。

関勉氏へのコメットメダル伝達式

太平洋天文学会 (Astronomical Society of the Pacific) は、関勉氏に本年度のコメット・メダルを贈呈することになりました。その伝達式は東亜天文学会と本会との協同で、次の通り行なわれることになりました。なお東亜天文学会は、今年が創成50周年にあたり、記念総会が行なわれる予定で、その途中で伝達式が行なわれます。ふるって御参加下さい。

日時: 1970年8月23日9時30分~12時(記念総会)

場所: 京都市青少年科学センター(京都市伏見区深草池ノ内、京都駅からタクシーで10分くらい)

なお、当日午後は東亜天文学会の研究発表。

1970年6月の太陽黒点 (g , f) (東京天文台)

1	7,	54	6	4,	9	11	—,	—	16	—,	—	21	—,	—	26	—,	—
2	8,	57	7	5,	13	12	—,	—	17	—,	—	22	—,	—	27	9,	47
3	—,	—	8	4,	22	13	6,	87	18	—,	—	23	—,	—	28	8,	65
4	4,	17	9	6,	30	14	—,	—	19	—,	—	24	—,	—	29	11,	85
5	—,	—	10	—,	—	15	—,	—	20	9,	36	25	—,	—	30	—,	—

(相対数月平均値: 79.9)

昭和45年7月20日
印刷発行
定価 125円

編集兼発行人 東京都三鷹市東京天文台内
印刷所 東京都文京区水道2-7-5
発行所 東京都三鷹市東京天文台内
電話武蔵野 32局 (0422-32) 1359

森本雅樹
啓文堂松本印刷
社団法人日本天文学会
振替口座東京 13595